

会 議 報 告 書	
会 議 名	平成 2 7 年度第 2 回社会教育委員会議
日 時	平成 2 7 年 7 月 7 日 (火) 自 1 5 時 0 0 分 至 1 7 時 0 0 分
場 所	市役所 6 階 教育委員会室
出 席 者	委 員：四方委員長、北島副委員、飯田委員、湯浅委員、宮崎委員 井上委員、石本委員、内田委員、岸本（美）委員、鈴木委員 岸本（岳）委員 事 務 局：奥谷生涯学習課長、吉田副参事、山田主査 傍 聴 人：なし
会議関係書類	<input checked="" type="checkbox"/> 有（別添のとおり） <input type="checkbox"/> 無
記録作成者	生涯学習課 氏名 吉田 万里 印 内線（2 7 7 3）

## 1. 開会

## 2. 委員長挨拶

あいさつ、新委員紹介

## 3. 議事

### (1) 協議案件

#### ・活動事例集の作成について

#### 【委員長】

では、議事に入らせていただきます。

次第の 1、協議案件ということで、活動事例集の作成について、まず、本日の進め方につきまして、事務局から説明をお願いしたいと思います。

#### 【事務局】

進行についての説明

#### 【委員長】

前回確定した 1 3 のこの事例を事例集ならびにこの事例の最終報告会を行うということで、今年度進めさせていただくということで、お間違いないということで。

そうしましたら、どういうふうな事例集の項目を立てていくかという。

これは、委員さんで、今後分担して、これらの 1 3 の事業を見にさせていただくわけですが、その見るときのポイントも共通に定めておいたほうがいいということもありますので、活動集の項目、それが、見るときの項目立てとも関連するわけなので、それをちょっとどうしようかなということ、少し決めていきたい

と思います。

御意見いただけたらと思うのですけれども。

#### 【G委員】

すみませんよろしいですか。

事例集を作成するにあたって、結局、それを見られた方が、お客さんとして参加したいなと思わせるものにしていくのか、それとも、例えば、私も同じようにカフェを試してみたいのだけれども、どうしたらいいのかなという視点で見るかとは全然違うと思うのです。

だから、社会教育活動を主体的にされる方向けに事例集をつくっていくのか、それともあくまでも、例えば、玉っこ広場でもっと遊びに来てくれるママをふやすという立ち位置でやっていくのかというところで、ちょっと、その両方を含めるのかとか、ちょっとその部分はどうかのかなと思ったのですけれども。

#### 【委員長】

同じ活動を始めたい人に手を取ってもらうか、その活動に参加したい。

#### 【G委員】

そうですね。もし、主体的にされたいと思っている方であると、ちょっとこれはいただいた声なのですが、まちづくり協働課でつくられた事例集の中で、要するに何かするにあたって、補助金制度とかはもっとどうなっているのかなとか、そういうのがちょっとよくわからないという声も聞いていまして、やっぱり、何かするには、先立つものも必要であると。

確かに、いろんな補助金制度もありますので、例えば、社協からゆるキャラのコスチュームを購入する資金を出してもらいましたとか、そういうことも含めて、これから同じことをしていきたいというのであれば、そういう情報も有益ですけれども、ただ、お客さんとして、トラちゃんかわいいから遊びに来てということであれば、その資金繰り云々はどうでもいい話になってきますよね。

その辺で、どういった方に向けて事例集を発信していくかという立ち位置がどうかのかなという。

そのためにも、誰でも手に取ってもらえるように、もちろんしていくべきだとは思っているのですけれども。

#### 【委員長】

両方であると同時に、でも、どちらかというところ、社会教育の、こういう活動も社会教育になるというような、その広がりをも具体的にイメージできるようにという話が、この間、ずっとあったと思うのです。

ですから、具体的に、細かい手法を扱うというよりは、これなら自分でもやってみ

たいなとかというような、どっちかといったらそういうイメージを広げる、自分もそれだったらやってみようかという気にさせると、単純に参加してみたいなど、お客としていってみたいなどのもありだと思えるのですが、そういう具体的に何か始めるときのマニュアルというよりは、もうちょっとその前の段階のところで、少しイメージを広げるような、そんな事例集かなと、私は理解はしていましたけれども。

それでも、それぞれの事業で、具体的に、どういう例えば補助金なり何なりを使って、具体化していったというところの記述もあれば、そういう意味では、自分でやろうと思ったときの参考にはなるかもしれません。

### 【J委員】

対象をどうするかによって、1つは、ボリュームが決まってくるので、恐らくノウハウ的なものを伝えようとすれば、事例と同時に幾つかのデータを資料的に盛り込んでおかないと、実際、手に取って使うものにはなっていないので、結構、ボリュームがふえてくる。それでないと、実際的には役に立たない。

そうすると、もう少し、委員長がおっしゃったように広く社会教育というものを知ってもらおうという、いわゆる軽薄的なことになると、これ取ってもらって読んでもらわないと意味がないので、余りボリュームを大きなものにしてしまうと全然読まなくなるし、そうすると、少しビジュアルも入れて、せいぜい見開きプラス8ページ程度というような感じで、ぱっと見て読んでみようかなと思うボリュームでないといけないのです。

そのところは、きちんと対象と目的を絞っておかないと、ちょっと中途半端なものになってしまうかなという気がします。

### 【委員長】

今、整理していただいたことでいうと、私のイメージはこうです。

出すだけ出して、いまいち読んでもらっていないとなるよりは、もうちょっと手に取ってほしい、それから、こんなことをやっているということ、もうちょっと市民の皆さんに知ってもらいたいというそちらのほうだったかなと思います。

ちょっと細かいノウハウにどうやってアクセスするかという、そこから先というところぐらいは示しておく必要があるのかなと思います。

### 【J委員】

作業と並行して、一定のノウハウとかデータ集をきちんと整理する。

これは、印刷するしないは別にして、例えば、生涯学習課のホームページなりにアクセスすれば、というルートはつくっておく手はありますね。

とりあえずは、見て私でもできるわというふうに思ってもらえるきっかけになるような冊子ということですね。

### 【I 委員】

まちづくり協働課の資料集は、どっちかといったら手法を、そういう情報提供しているという点が大きいので、今度作成するのはもうちょっと広げる意味で、ちょっとビジュアル的な感じで、見てもらえるような、そういうような事例でいいのでないか。そういう方をまず主体的にやる形でいいじゃないのですか。

### 【A 委員】

実際に参加したいというのは、それぞれの団体で、チラシつくったりとか、いろんな広報をされているから、それは、ちょっとこういうのがあるのかなというので、広げられるぐらいでいいのかなと思いますし、社会教育というのは、こういうのも社会教育だというみたいなのを知るといいかなとは思いますが、13というところで、また、あと観点も話していったらいいだろうし、ひょっとすると、社会教育でこういう観点なり、事業もまた必要かなというのが、草津市としての社会教育で、例えば、環境、ここにも環境というのがありますけれども、環境という観点とか、人権とか、社会教育が大切にしないというところも拾い出すことも必要かもしれません。

国際交流であったりとか、社会教育の広がりにつながるという気はします。

### 【委員長】

ここで5つ目的を挙げていただいておりますけれども、ひょっとしたらもうちょっとここに項目が入って、何か複数こう丸がついてくるような、そんなイメージ。

### 【A 委員】

例えば、子供とか高齢者とか、対象者ですよ。文化芸術はまちづくりになるのかなと思うので、だから複数ついてもいいのですよね、きっと。そこの観点で、先ほど出た環境であったりとか、人権とか、国際交流とか、何か必要なのかなというところとか、内容も含めて、広げてもいいような気がしました。

### 【J 委員】

多分、手に取ってもらおうと思っている人に、どの切り口で載せているかというのがわかりやすくなっているほうがいいと思います。

ずっと上がって行って、おもしろさというのは、その切り口のおもしろさが、自分の興味と合致したものだと思うので、ここに挙がっているものについても、もっといろんな切り口をつけ加えていけると思うので、恐らく、開いたときに、目に入ってくる切り口が、それぞれいろんな人が興味をひくような形で見出しをつくっていくのが必要でしょうね。

### 【G 委員】

人の興味というか、ある程度、インパクトがあるのが、1つは、例えば、実際にこんな活動をしていますということではなくて、〇〇さんにインタビューみたいな感じで、具体化、人と顔となりを出して上で語ってもらうようになってくると、自分も私も持っているしとちゃんと言えますし、ほかの方も、それは身内の方かもしれないけれども、〇〇さんが載っているんだってねという感じで、具体性のあったほうが、いいような気はします。その方の言葉で語っていただく。

#### 【J 委員】

私は、多分、Gさんがおっしゃったこととかぶってくるのだけど、当事者が書いておもしろいかなと思うのです。

じゃあ、さっき調査にいくとかいう話があったので、委員の中で、クロスしちゃってもいいのかなと思っているのです。

だから、当事者は書かない。

別の人がある活動を取り上げて、多分、そっちのほうが取り上げる視点というのは、明確になってくるし、おもしろくなってくるので、多分、自分たちでも気がつかない部分も引っ張り出せるかと思うので、ちょっと時間的に皆さんの大変さがあるのだけれども、自分の活動報告が一番簡単なのだけれども、それが、じゃあ、読んでおもしろいかというと、決して、そういうふうにはなっていない。だけど、見についておもしろいわと思ったことを書いたほうが、多分、誰かに読んでもらって興味を引くだろうと思うので、可能だったら、私は、全部ぐるぐると回してインタビューも入れたものをつくったほうが、読みやすいかなと思います。

#### 【委員長】

賛成ですね。

当事者が自分の言葉で書くのではなくて、別の委員が見について書くというのと、それから、やっぱり、Gさんがおっしゃったことで、何か全部同じフォーマットに落とし込んでまとめ過ぎると、逆におもしろくないというか、そこで、活動している人の肉声が聞こえてくるようなほうがいいです。

具体的に、こういうなんかことやっているというのが、その当事者が具体的に何か語るというか、具体的な数のイメージがわくほうがいいので、じゃあ、こうしましょうか、ほかの委員さんが、その方にインタビューするというのを基本的なルールにするというので、そのほうがいいかもしれないですね。そうしましょうか。

基本、どなたかの委員さんが、当事者としてかかわっているものばかりだと思いますので、ほかの委員さんがその方にインタビューするというのを、ちょっとどれも柱にすると、そこにちょっと客観的なデータというか、項目も加えていくという、そんなイメージですね。

#### 【G 委員】

先ほどおっしゃった取材ということも含めてで考えたときに、おっしゃったように、現在は、活動をやってらっしゃらなくてというところもあるかなと思うのです。

全体の中で、いつどこで、頻度どのくらいでやっているのかというのが、今は、この中ではわからないので、実際に取材にいくとしたら、そういうことも必要になってくるので、そのデータもできたら。

#### 【委員長】

そうですね。

一応、皆さんから、推薦してもらった活動事例リストのところは、基本、事業活動名、ジャンル、活動場所、それから、活動日、曜日、時間帯、それから、内容、おすすめアピールポイントという共通のフォーマットで出してもらっているので、ここに書いていただいたデータは、少し流用できるかなと思います。

ただ、現在、どう活動しているかがちょっとわからないやつもありますよね。

だから、もうちょっと詳しい、現在のも含めての、この活動日、曜日、時間帯、このデータがもうちょっと精緻なものが欲しいかなという気はします。

事業概要をもう少し詳しく聞いてきてもらおうというのと、それから、主体的に携わっている委員さんにインタビューするという。

それから、Aさんが先ほどおっしゃったように、今は、この5点で丸をつけていっているのだけれども、ここに環境、国際交流、人権、あと、何個か入れて、それぞれ見にってもらって、どれだけ丸がつけられるかというのを見てもらうとか、そのあたりですか。

環境、国際交流、人権以外にありますか、何か。

#### 【I委員】

健康とか、防災とか。

#### 【J委員】

さっきおっしゃったように、最初の3つがこれ対象になっていますよね。対象で切っても余りおもしろくなさそうなので、多分、これをばらしてしまっただけで、これもう少し内容に変えたほうが、全部、その活動内容を、何を目的としているかということで、多分、青少年の育成というので切り口を出しても余り興味引きそうにないので、だから、高齢者のところだった健康づくりだとかにしたほうが具体的だと思うし、対象が、ちょっと当たり前過ぎちゃって。

#### 【委員長】

それか、対象は対象で何か1個別個入れておいて、内容でどこにあるとか、だから、対象は対象で別途聞いたほうがいいかもしれないですね。

### 【J委員】

そうですね。もう1つ、そこにきちんと内容をつけ加えて。

### 【A委員】

幾つかの面というか、あたりとか。切り口があたり・・・。

一番最初に、対象は高齢者で、内容は健康みたいな形のほうがわかりやすいですね。

目的とかいうのもどっかにあるといいかなと思うのですが、それがきっかけとかかわってくるのかもわからないけれども。

結構、何か感動するには、こういうことしたいからという思いとか目的があってされているのかなと思うので。

### 【J委員】

手に取って見やすいのは、イメージとしては、もうせいぜいこれ2枚ぐらいで、1ページに2つ、そうすると、全部で16コマあって、表紙と、ちょっと連絡先、担当の資料が入って、13にちょうどおさまって、ボリューム的には、これもう1つ大きくしてもいいのです。大きな紙にしてしまっ。ぱっと手に取って目を通して、おもしろく読むボリュームだと、1個。

つつい盛り込みたいと思うのだけれども、盛り込まないほうがいいのだろうなと思うのです。

多分、取材したときに丁寧に、それは、もしよかったら、さっき言ったホームページなんかきちんと個々に参照の案内をつけておいて、詳しいことはこっちを見てくださいとかいう形にしておいて、できたら、本当にそこからエクスだけ抜き取る形のほうが多分いいだろうと。

### 【委員長】

まずは、こんな項目をみんなを出して、そこから載せるのは、取捨選択して、多分、文字数とかも余りポイント少なくすると見にくくなるので、見やすいレイアウトとか、ポイントとかあるのかなとは思いますが、1つは、細かい話ですけど。

### 【G委員】

先ほどおっしゃっていた国際交流の観点というところが大事だということで、たんぽぽという活動グループがありまして、ブラジル系の子どもたちに、午後の学習指導をされているサークルがあるのですけれども、社会的に非常に重要な活動だと私個人は思っています、ただ、ちょっといろいろ御理解がなかなか得られないような部分もあって御苦労されているようなので、そういった団体を一つ御紹介というか、それもいいかなとちょっと思ったのですけれども。

メッセージとして、最終的に、社会教育の必要性ということ、やはり、広く市民の皆様には訴えていかなくてはいけないと思いますし、誰でもその担い手になれる要素を持っていますと、ぜひ、一緒にやりましょうというようなところも落としどころだと思うのです。

お年寄りのちょっとボランティア系になってくると、もちろんやってくださることも大事なのですが、やっている人自身のいきがづくりみたいな側面も結構あるというか、だから、ちょっと一瞬、それを、社会教育というのは、どうやってつなげたらいいのかなという。

### 【委員長】

ちょっと、今、出てきたことをざっくり整理させていただくと、まず、共通の項目としては、ここまず挙げていただいております事業名、主な地域、事業概要、実施主体、あと、きっかけ背景、活動頻度、活動日とか時間帯とか、それから、活動の目的ですよね、あと、対象者というか、活動にかかわっている、どう言ったらいいのかな、対象者、ちょっと適正な言葉がよくわかりませんが、対象者と、それから、内容に関して、環境、国際交流、人権、健康、防災、文化芸術、まちづくり、子育て、あと、何かぐらいを用意しておいて、そのどれに該当するかを評価すると。

それと、見開き2ページでつくって、次の見開き2ページのところに、それぞれの事業に代表的にかかわっている委員さんにインタビュー、丸々2ページ載せると、合計1事業につき、4ページぐらいというので、何か、4かける13でどうかという、そんな大体大枠なイメージがちょっと私の頭の中にできたのですが。そんな感じですか。

### 【J委員】

仕上がりは、製本はできないですか。

製本できないと、恐らく手に取ってもらうのは、難しいですよ。

先生おっしゃっていた形のやつを、基本的に資料としてシートにまとめて、これは、例えば、ホームページに載せるのは可能ですよね。

だから、ホームページにフォーマットできれいにおさめて、インタビューもおさめて、それを見られるようにしておく。

恐らくこういった形で製本ができないとなると、ホチキスどめのやつ、十何ページのやつ置いておいて手に取ってもらうというのは難しいです。

そうすると、やはり、本当に一つの活動について1つ、2つぐらい並べて、それでパンフレット形式にしておく。

その場合だと、私は、フォーマット気にしないで、皆さんおっしゃったように、小さいのやら大きいのやらうまく入れて、散らばせてしたほうが、見たときに余りまとまっていないほうが、恐らく、きれいにまとまっていると何やと思うけれども、ばらばらとレイアウトきれいにしたほうが目を引くし、手に取って見てもらやすい。



恐らく、先生おっしゃった形のやつは、きちんとまとめてと思います。ほかで利用するという。

それが、そのボリュームでいくと、製本できない以上は、決して皆さんが喜んで手に取ってもらえると思うので、それは、あくまでも活動、事例活動シートみたいな形で、これはきちんとつくると、つくってきちんとホームページでそれは見られるようにしておく、そこまではきちんとすると。

その中から、きちんと抜粋したものを、パンフレットにした形で、手に取ってもらえるようにしようと思うと、せいぜいこれで2枚ぐらい。

きちんとしたものはつくるけれど、それを配布用のものにするのとは、ちょっと別に考えたほうがいいのかと思います。

恐らくさっきの話でいくと、できるだけ多くの人に手に取ってもらって、私でもできるわというふうにしようと思ったら、市民センターなんか置いておかないといけないのです。

多分、私の場合、これホチキスでとめてあって、十何ページのものがとめてあったら、多分、手には取らないです。

それもずっと放ってあったら、ぐにゃっとなってきましたから、もうそれは、多分、誰も手に取らない。それやったら、少し厚めの紙で、せいぜいこれをもう一つ入れたぐらいで立てて置くほうが、市民センターなんか置いてあっても手に取りやすい。

そのときには、少し、最初のところは目立つようにしておくというのと、開いたときに、余りまとまっていない、きれいになっていると、余り興味を引かないと思いますので、恐らく少し目立つものをぼんと載せる、小さくするのとかいうふうに入れておいたほうがいいのかと思います。

だから、ちょっと先生がおっしゃった形のまとめの形と、それを印刷したものとして配布するもの、これちょっと別に考えたほうがいい。

ただ、これだけつくっても恐らく意味がない。

これをつくる手間は、きちんとかける、その部分については、ホームページなどにきちんと置いておくと、でき上がりのイメージを2つ別に考えたほうがいい。

## 【委員長】

今の議論で大体こんなイメージかなと思うのですけれども、まず、最終的に市民の皆さんに配るパンフレットというのは、A3をもう一個ぐらいついたやつを三つ折りにするかというイメージなのですけれども、その元ネタとして、各1事業につき見開き4ページの、そのもとになるものをつくると。

まず、最初の見開き2ページのところを共通して、事業名、主な地域、事業内容の概要、実施主体、活動日とか時間、きっかけ、背景、目的、対象者。

この内容を環境、人権、国際交流、健康、防災、文化芸術、まちづくり、ほかにもうちちょっと項目があれば出していただければと思うのですけれども、その当てはまるものに丸をつけていくという、これをちょっと共通のフォーマットで見開き2ページ

にまとめる。

次の見開き2ページのところに、その活動に主体的にかかわっている委員さんに対して、ほかの委員さんがインタビューしたものを見開きページで載せます。

この4ページほどのセット、1事業につき4ページもののセットかける13で52ページのもの、これが、もともになるものとして作成して、そちらに関しては、インターネットにアクセスすると、そういうイメージで、今の議論、今までの議論をまとめたらこんな感じになるかなと思うのですけれども。

#### 【I 委員】

項目としてもしあったら、ふやしてしまいますけれども、例えば、成果であったりとか、工夫した点とかあるといいかなという気もするのです。

やったけど、人がどんどん集まってきたとか。

#### 【委員長】

基本はインタビューも、これを確認しつつ、さらにおもしろそうなところは突っ込んでもらったほうがいいですね。

それは、でもお任せで。

これさえ先に押さえてもらったら、後は、お任せとかでもいいかなという気はするのですけれども。

だから、この観点は全て、基本は網羅してするというのを目的に、ちょっと見にいたり話を聞いたりしてもらって、プラスアルファの部分、はみ出る部分をむしろ次の3、4ページのところに載せてもらったらいかな。

当然、話の内容って、ここが多分メインになると思うので、ここが、多分ばあって膨らむかなと思いますので。

こんな感じですか。

でも、ちょっとこれではボリューム多いかもしれないです。

もうちょっと縮めてもいい。

どうしようか、例えば、2ページにまとめてしまうとか、いやでも2ページに縮めたら、ちょっときついか。

だから、例えば、この共通のフォーマットを左にやって、こっちにインタビューとか。

#### 【F 委員】

多分、ホームページに載せるのだったら、こちら側の部分、余り字を詰めずに、フォーマット決めて広くとって、見やすくしたほうがいいと思います。

#### 【委員長】

じゃあ、やっぱり、2ページで。

## 【J委員】

もう一つのほうに、インタビューとできたらそこに写真も入れてもいいし。

きちんとそれもホームページに載せるときにPDFなんかでページづけしておいたら、それプリントアウトすれば冊子になりますから、だから、そこはきちんとフォーマット決めて1ページに納めて、プリントアウトして、1冊もつというのも可能な形にしたほうがいいと思います。

プリントアウトしたのを置いておいたら正解になりますから。

《以下、レイアウト、取材グループ編成について協議》

## (2) その他

### 【事務局】

テーブルの上に資料として置かせていただいたのですが、少年センターのほうの事業概要と、それから、少年センターだよりができ上がりましたので、また、参考に御了承いただきたいと思います。

それから、資料の送付の事例送付のときに、一緒に御案内させていただいたのですが、けれども、講習の案内が何点か来ておまして、7月16日に県の社会教育諮評議会、評議委員会の後の研修会がございます。2時半から3時55分までなのですが、こちらを希望される方、また、緑色の冊子で、一部の社会教育研究大会奈良大会、今回、9月4日にあります。こちらのほう、希望される委員さんにつきましては、事務局のほうへ、できましたらきょうお帰りになられる前に御一報をいただきたいと思います。

そして、もう一つ、案内3としてついていますのが、県の人権教育研究大会なのですが、こちらは、日程の案内が来ておりました。

まだ、動員等、参加申し込み等はまだですので、また、日程については、後ほど、県のほうからまいりましたら御案内をさせていただきたいと思います。

次に、第3回目の会議なのですが、できれば、9月の初めごろにできたらなと思っております。

また、日程調整を後日させていただきたいと思います。

## 4. 閉会

---